

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 8 回 定例委員会
日 時	令和5年8月18日 自 15時00分 至 17時40分
場 所	教育・福祉センター5階大講堂
出席委員	教 育 長 福 原 功 委 員 佐 藤 郁 子 委 員 齋 藤 智 子 委 員 岡 田 秀 樹 委 員 高 橋 憲 司
欠 席 委 員	
会議録署名委員	齋 藤 智 子 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 竹 中 響 紀
事務局職員	教 育 部 長 園 田 透 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 東 峰 秀 樹 教 育 部 参 事 桑 島 久 典 学 校 教 育 課 長 江 原 倫 代 学 校 教 育 課 学 務 係 長 千 葉 大 輔 学 校 教 育 課 学 務 係 主 査 小 関 瑞 樹 学 校 教 育 課 教 職 員 係 長 伊 藤 理 絵 学 校 教 育 課 教 職 員 係 主 査 加 勢 大 輔 生 涯 学 習 課 長 河 本 充 教 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 稻 場 和 宣 総 務 企 画 課 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 竹 中 響 紀 総 務 企 画 課 主 事 根 田 笑 里
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1	委員会開会の宣言（福原教育長）・・・15時00分
2	会議録署名委員の指名（齋藤智子委員）
3	会議録の承認
	（福原教育長） 第7回定例教育委員会（令和5年7月21日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
	（一同「はい」の声）
	-会議録どおり承認-
4	教育長の報告
	（福原教育長） それでは、7月21日開催の第7回定例教育委員会以降の主な動きなどについて報告をさせていただきます。
	始めに、令和5年度全国高等学校総合体育大会（いわゆるインターハイ）が北海道各地を会場に開催されました。本市では7月22日から29日にはソフトテニス競技が開催され、8月1日から7日にはテニス競技が千歳市の会場と併せて開催されました。また、8月11日から16日には第18回全国高等学校選抜アイスホッケー大会（いわゆる氷上の甲子園）が開催されました。インターハイや氷上の甲子園で全国から多くの高校生が来苦し、激闘を繰り広げるとともに、地元高校生などと交流を深めるなど、珍しく暑い苫小牧の夏を満喫された両大会だったと思います。
	7月29日、30日には、苫小牧アートフェスティバル、美術博物館祭、苫小牧音

<p>楽祭TOMOCONが出光カルチャーパーク、中央図書館、サンガーデン、美術博物館を会場に同時開催されました。両日とも天候に恵まれ、10,600人の延べ来場者が様々なイベントを楽しんでいただけたものと考えております。</p>
<p>8月4日から6日には、第68回とまこまい港まつりが4年振りのフルサイズで開催されました。日曜日のマーチング・ポートカーニバルは生憎の天気で中止となりましたが、土曜日は市民踊りや苫小牧百年花火などが実施され、3日間で32万人の来場者数となり、苫小牧の夏を楽しまれたものと思います。各委員の皆様には、開会式や市民踊りの審査など、暑い中のご協力に感謝いたします。港まつりに合わせて、姉妹都市交流として八王子市と日光市から教育長がお越しになり、歓迎夕食会や花火鑑賞などで親交を深めるとともに、教育に関する現状などについて情報交換を行いました。今年は八王子市との姉妹都市締結から50周年を迎えており、学校給食メニュー交換交流事業など様々な記念事業が行われておりますが、7月下旬には子ども研修事業で本市の小中学生が八王子市を訪問し、両市の繋がりなどを研修したほか、八王子市の小中学生との交流事業などが実施されました。八王子千人同心がもたらす、日光市を含む3市の姉妹都市の絆が、若い世代により末永く続き、今後一層、交流が深まることを期待しています。</p>
<p>15日には、令和5年度平和祈念式典が開催されました。コロナ禍により令和2年度は中止、令和3年度、4年度は感染症対策の中での開催でしたが、今年度はコロナ前ほどの参列者とはならなかったものの、多くの遺族、市民の皆様が戦没者の冥福と世界の平和を祈りました。今年も中学生広島派遣事業により広島市を訪問した中学生5人による平和の誓いがありましたが、5人の中学生には、この経験によって得られた平和の尊さについて、今後の学校生活などで広く伝えていってほしいと思います。</p>
<p>最後に、今年は、令和6年度から使用する小学校教科用図書採択の年でございます。7月下旬から、これまでの間、教科用図書調査研究委員会の報告を受け、その後、勉強会を幾度と開催し、長期間、長時間にわたり、委員の皆さんと熱い意見交換を重ね</p>

てきたところでございますが、本日の会議において、教科用図書採択についてお諮りいたしますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。

報告は以上ですが、何かご質問等ございませんか。

(一同「なし」の声)

5 議 案

第1号 令和6年度使用 教科用図書の採択について

(福原教育長) それではまず、小学校用教科用図書、国語の審議に入ります。国語につきまして、各委員からご意見をいただき、決定をしたいと思います。

それでは、佐藤委員から、お願いいたします。

(佐藤委員) 国語に関しまして、意見を申し上げます前に、教科書全体に用意あるいは準備されておりますQRコードについて、内容が非常に充実し、かつ特色のあるものであることを、確認しておりますことをまず申し上げたいと思います。

国語でございますが、扱っている題材の内容が読みやすいこと、また各学年で学びとして適切であること、自分の勉強を振り返り、さらに中学校との連携について考慮いたしまして、私は光村図書を選びました。

(福原教育長) ありがとうございます。

次に、齋藤委員、お願いいたします。

(齋藤委員) 私も国語に関しまして、光村図書を選ばせていただきました。全体的にまとまっていてバランスがよく、今現在、小学校で使われているため、先生方も教えやすいという評価もありますので、次も光村図書で勉強していただきたいと思えます。以上です。

<p>(福原教育長) では、次に、岡田委員、お願いいたします。</p>
<p>(岡田委員) 現在使われている国語教科書は光村図書出版ですが、事前の調査研究結果や、現場からは、話す、聞く、書く、読むことについて、日常生活の中で自分の思いや考えをまとめ、広げるような工夫がされており、言葉を大切にする内容となっているといった評価がされていることから、従前に使われている光村図書出版ということ考えております。</p>
<p>(福原教育長) では、次に、高橋委員、お願いいたします。</p>
<p>(高橋委員) 私も光村図書が素晴らしいかと思っております。内容に関しましては、特に読み物として書かれている題材が特出しており、子供にとって学びの多いものを選択されていると思います。また、ほかの教材よりもページがすっきりしていて、具体例も多く、書体に関しましても、ほかの図書と比べて見やすくなっており、光村図書がよろしいのかなと判断いたしました。以上でございます。</p>
<p>(福原教育長) それでは、最後に私から申し上げますが、私も光村図書を選択したいと思えます。学びやすいかという点で、巻末、巻頭でそれぞれに特色ある工夫がされているということ、また、教えやすいかというところの視点でいきますと、ほかの学習や生活につながる内容で示され、教科横断的な視点というものが取り込まれているという部分が私の評価でございます。</p>
<p>それでは、国語に関しましては、皆さん、光村図書ということですので、光村図書ということでもよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(福原教育長) ありがとうございます。それでは、小学校教科用図書の国語は、光村図書出版に決定をいたします。</p>
<p>次に、小学校用教科用図書、書写の審議に入ります。各委員からご意見をいただき、決定をしたいと思います。それでは、佐藤委員からお願いいたします。</p>

<p>(佐藤委員) 書写につきまして、分かりやすいというところと、子供たちが親しみやすい内容であるというところ、QRコードも素晴らしいということに加えて、書くということに関して、系統的または発展的に学習できるような工夫がされておりますので、私は書写を光村図書で選ばせていただきました。</p>
<p>(福原教育長) では、齋藤委員、お願いいたします。</p>
<p>(齋藤委員) 私も光村図書を選ばせていただきました。現場からも大変使いやすいという声を聞いておりますし、ほかの会社もそうですが、子供たちが主体的に学べるような内容になっており、さらに具体的に悪い例を示すなど子供たちが学びやすい展開がされていると感じまして、光村図書を選ばせていただきました。</p>
<p>(福原教育長) 岡田委員、お願いいたします。</p>
<p>(岡田委員) 光村図書、東京書籍、教育出版、どれも取扱内容については、なかなか難しい選択でありました。ただ、現在使われております光村図書は、見やすさ、興味、関心などが持てる内容となっており、現場での評価もあることから、私は光村図書出版を選択いたしました。</p>
<p>(福原教育長) 続きまして、高橋委員、お願いいたします。</p>
<p>(高橋委員) 私も光村図書がよろしいのかなと思っております。</p>
<p>全体的な文字の大きさや、止め、跳ねについては、特に文字の大きさについても考えながら書くような示しをしていたり、また、高学年に向けて、それぞれの狙いというのも設定されていたり、その中で何に気をつけて書かなければいけないのかがわかりやすく、素晴らしいと思い、採択をさせていただきたいと思います。</p>
<p>(福原教育長) それでは、私からですが、私も光村図書を採択したいと思います。</p>
<p>学びやすいかという点で、国語の教科用図書との関連を図った教材が掲載されており、児童の学習意欲を高める工夫がされているというふうに感じましたので、光村図書を</p>
<p>選択しました。</p>
<p>それでは、皆さん、光村図書ということですので、よろしいでしょうか。</p>

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、小学校教科用図書、書写は光村図書出版に決定をいたします。

続きまして、小学校用教科用図書の社会の審議に入ります。各委員からご意見をいただき、決定したいと思います。それでは、また、佐藤委員からお願いいたします。

(佐藤委員) 社会につきましては、各学年に共通するものとして、学びの流れ、それから学習の仕方、今日的な課題が取り上げられているかなどを考えました。その中で、写真の扱いが白黒からカラーになっているなど、より分かりやすい工夫がございましたので、様々な広がり期待して、教育出版を選択させていただきました。

(福原教育長) 齋藤委員、お願いいたします。

(齋藤委員) 私も社会に限らず、今回の教科書選定に際して、子供たちの主体的な学びに適した教科書を選ぼうという方針で検討しておりますが、教育出版社が、この3社の中では一番子供たちが主体に学びやすい教材だと思われましたので、教育出版社を選ばせていただきました。また、自分が今どういう勉強をしているのかということが一目瞭然で分かりやすいという点が教育出版を選んだ理由です。以上です。

(福原教育長) それでは、岡田委員、お願いいたします。

(岡田委員) 私も教育出版を選びました。社会科という教科は、苫小牧という地域、それから、さらに日本、世界へと広がり、その成り立ち、歴史を知って、そこから将来、私たちの社会をどのようにしていくか、自ら考えていく力を育てるという教科だと考えております。4学年で、ごみのリサイクルについて、どう取り組んでいくかを考え、広げる。高学年では日本の工業生産の特色と、これからの工業生産の発展に大切なことを話し合うという内容があり、6学年では、国際化の中で、地域、日本、世界をどうつくるか考えていく、そういう内容となっておりますので、私は教育出版を選んでおります。

(福原教育長) ありがとうございます。それでは、高橋委員お願いいたします。

(高橋委員) いろいろな見方があるかと思ひまして、最終的に東京書籍か、教育出版で迷ったのですが、最終的には教育出版がよろしいのかなという判断をさせていただきました。社会で大事なことは、世の中ですが、自分の生活、目に見える範囲の中での今までの歴史や生活が、自分たちにとって理解しやすいものであるのが一番よろしいのかなと思うのと同時に、QRコードを用いている点や情報の多さ、佐藤委員も申しましたが、白黒写真がカラーになっており、子供たちにとってすごく見やすく、理解がしやすい、また、教科書の中にアイヌの話も出ているということも含めて、教育出版を今回は選ばせていただきました。以上です。

(福原教育長) 私も教育出版を選びました。学びやすいかという点では、つかむ、調べる、まとめるなど、何について学んでいるかをインデックスで確認することができ、見通しを持った学習を進められるよう工夫がされている部分、また、問題を解決していく上で重要なキーワードを、必要に応じて解説を加えて備考欄に記載しており、教える側にとっても工夫がされていると思います。また、QRコードのお話が皆さんからありましたが、私も学習内容に応じて写真やイラスト、さらには動画などで紹介しており、指導の際にも生かしやすくなっているのではないかと思います。

それでは、皆さん、教育出版ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、小学校教科用図書の社会は、教育出版に決定をいたします。

続きまして、小学校用教科用図書の地図の審議に入ります。各委員からご意見をいただき、決定をしたいと思います。それでは、佐藤委員からお願いいたします。

(佐藤委員) いずれもイラストや、キャラクターを使っており、楽しく学ぶことができるように工夫されておりましたが、苫小牧、または北海道以外と比べやすいかどうか、それから、現在と比べて歴史的な見方から学習できるかどうかについて考えま

<p>して、私は帝国書院を選ばせていただきました。</p>
<p>(福原教育長) ありがとうございます。齋藤委員、お願いいたします。</p>
<p>(齋藤委員) 私も帝国書院を選ばせていただきました。小学校3年生から使用する ということを検討しまして、地図帳の使い方が丁寧に説明されているか、また、情報 量が適切であるか、あまり複雑ではなくて、小学校3年生のお子さんが見ても見やす く、地図の位置を把握できるかということを基準に選ばせていただきました。</p>
<p>(福原教育長) ありがとうございます。岡田委員、お願いいたします。</p>
<p>(岡田委員) 私も帝国書院を選びました。なかなか難しい選択ですが、資料が一番 見やすいのかなと私なりに思いましたものですから、帝国書院を選びました。</p>
<p>(福原教育長) 高橋委員、お願いいたします。</p>
<p>(高橋委員) 私も帝国書院を選ばせていただきました。全体的に全部満遍なく情報 が載っており、子供たちにとっても北海道を理解するためには適切な図書になってい るかなと思ひ、選ばせていただきました。</p>
<p>(福原教育長) 私も帝国書院を選びました。都道府県や世界の国々の名称、位置関 係が分かる3ページ大の地図や地図帳の使い方、また、地図上の国旗や都道府県の特 産品が分かりやすく示されており、使用上の便宜が図られていると思います。また、 QRコードに関しては、どんな情報を読み取ることができるのかが示されているとい うところで、学習内容に応じてアニメーションや統計資料等を効果的に活用すること ができるよう、工夫をされていると思ひました。</p>
<p>それでは、皆さん、帝国書院ということですので、よろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(福原教育長) それでは、小学校教科用図書の地図は、帝国書院に決定をいたしま す。</p>
<p>次に、小学校教科用図書、算数の審議に入ります。各委員からご意見をいただき、</p>

決定をしたいと思いますので、佐藤委員からお願いいたします。

(佐藤委員) 算数につきましては、各学年それぞれ、数の計算、それから図形、測定、変化の関係について、各々目標が達成しやすいように、また、そのことを自分の学習によってできるように学習活動も工夫されておりました。その中で、特に2年生の難しくなる掛け算をどのように扱っているのか、どのように割り算や小数につながっているのかというところを重点的に考え、測定に関しては、身近なものを使って学習できるかどうかというところも考えまして、東京書籍を選ばせていただいております。

(福原教育長) それでは、齋藤委員、お願いいたします。

(齋藤委員) 私も、どの教科書が一番主体的に学びやすいかという観点から、東京書籍を選ばせていただきました。まず、一つのページで一つの問いがあり、それが解決に向かって説明をされていて、算数の教科書の中でも色合いが美しく、すっきりとしているので、算数に苦手意識があるお子さんも抵抗感がなく取り組めるのではないかと思います。もう一つ主体的に学びやすいなと思ったのが、苦手意識が深まりやすい割合のページの部分にも、どんな混ざり方になっているかという問題提起があってから、割合の表し方を説明しており、流れなどから、子供たちが主体的に抵抗感なく算数を勉強できる教材かなと思ひまして、選ばせていただきました。

(福原教育長) 岡田委員、お願いいたします。

(岡田委員) 東京書籍を選びました。現在使われている教科書が東京書籍ということで、日常と結び付けた学び、算数を学習することの大切さ、それを学習する意味が実感できるように学習意欲を高める工夫がされているというところで、東京書籍を選びました。

(福原教育長) 高橋委員、お願いいたします。

(高橋委員) 私も東京書籍を選ばせていただきました。全般的にQRコードも含めて、子供たちがつまづいたときにも解決しやすく、勉強を継続ができるという自分の算数に対する面白さ、そして、勉強したことがちゃんとつながっていて、学ぶことに

関して連続性を持たせるというのが私は大事だと考えました。その上で、東京書籍はQRコードなどを使って理解を深めることができ、また、どうしてその問題がこういうふうにつながっているか、最終的に学習がしやすいものとしてあるのかなと思いましたが、東京書籍を選ばせていただきました。

(福原教育長) 私も東京書籍を選びました。単元前半では、吹き出しや発問を丁寧に掲載していますが、中盤から後半にかけては、既に習った事項などを活用しながら、自分自身で問題を解決し、思考力が育まれるような工夫がされていると思います。また、教えやすさについても、興味、深い学びが設定されており、最適な学びと協働的な学びと一体的な充実に向け、児童の習熟度及び多様な学習形態に対応できるよう配慮されていると感じました。

それでは、皆さん、東京書籍ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、小学校教科用図書の算数は、東京書籍に決定をいたします。

続きまして、小学校用教科用図書の理科の審議に入ります。各委員からご意見をいただき、決定をしたいと思います。それでは、佐藤委員、お願いいたします。

(佐藤委員) 理科につきまして、3年生から6年生までの各学年におきまして、学習の流れを見通し、単元ごとに自分の成長が実感できるように工夫されていること、さらに、主体的に学習に取り組みやすいということに加えて、全学年にわたり、学ぶということを実感できるような特徴になっていると思いましたので、私は東京書籍を選ばせていただきました。

(福原教育長) それでは、齋藤委員お願いいたします。

(齋藤委員) 私も東京書籍を選ばせていただきました。この教科書の特徴として、動機づけがとても上手かなと思いました。3日後の月はどうなっているかななどの、

子供たちの関心を深めるような発問がとても上手で、そこから問題をつかみ、問題を予想し、実験、まとめ、振り返り、確かめと、主体的に学習しやすい内容になっていると感じました。また、見た目もカラフルで、楽しめる内容となっており、たくさんの子供たちが理科に興味を持って学べるかなと思いましたので、選びました。

(福原教育長) では、岡田委員、お願いいたします。

(岡田委員) 私は東京書籍を選びました。他の教科書の大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、どれも身近な生活を関連させており、理科に興味を持たせようという工夫が見られておりました。理科を学ぶことが日常生活にどう生かされているか、ろうそくの燃焼を学び、燃焼の理由を知ることで火を消すことにも役立つ、火事があったときの消火の仕方にも役立つというような、関連付けた理科の学び方、内容となっており、理科を学ぶのに興味を持たせるような内容になっています。現場からも東京書籍についての評価がありますので、東京書籍を選びました。

(福原教育長) 高橋委員、お願いいたします。

(高橋委員) 私も東京書籍を選ばせていただきました。全般的に非常に分かりやすく、見やすい形で書かれており、なおかつ、自分の生活におけるつながり、関連性を非常に引き出しやすく、捉えやすい教材だと思っております。

また、中学校とのつながりが必要だということもお聞きしておりますので、そういう意味におきまして、小学校で学んだものをしっかりと中学校の勉強につなげていくということを考えても、東京書籍が妥当ではないかというふうに思いました。

(福原教育長) 私も東京書籍を選びました。児童の問題発見力や問題解決能力が育まれるよう、全ての問題をつかみ、問題、予想、調べる、まとめるという流れに沿って学習が組み立てられていることや、また、単元末と巻末に振り返りが用意されており、知識、技能の定量、定着を図れるとともに、学んだことを次の単元に生かすことができるよう、こういった点は教えやすいということを徹底されていると思いました。

それでは、皆さん、東京書籍ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、小学校教科用図書の理科は、東京書籍に決定をいたします。

それでは、続きまして、小学校用教科用図書の生活の審議に入ります。各委員からご意見をいただき、決定をしたいと思います。それでは、佐藤委員、お願いいたします。

(佐藤委員) 生活につきまして、小学校に上がって、生活をするとはどういうことなのかを体験できるように丁寧に作られており、特に実際に見てみるというところを含めて、デジタル図鑑がより充実することにより、さらに学習の度合いが深まり、学習する機会が増えるのではないかと思います。私は啓林館を選択させていただきました。

(福原教育長) それでは、齋藤委員、お願いいたします。

(齋藤委員) 私も啓林館を選ばさせていただきました。スタートカリキュラムが充実していることや、前回も教科書採択に携わりましたが、啓林館に替わったところ現場からの評判もよく、次ももう一期啓林館を使いたいといったような意見も伺ってありました。また、もう一つ、苫小牧のスケートまつりや苫小牧の中央図書館についても教科書の中に取り入れられており、子供たちも親しみやすく、楽しく学ぶことができるかなと思ひまして、啓林館を選びました。以上です。

(福原教育長) 岡田委員、お願いいたします。

(岡田委員) 私も啓林館を選びました。生活の授業がある第1学年、第2学年は、地域の生活の様子を見るために、学校から外に出て見学することが行われるとお聞きしております。啓林館の内容も、身近な社会の活動を具体的に体験して、気づいたことを基に考え、気づきを深めるという内容になっているということから、啓林館を選びました。

(福原教育長) それでは、高橋委員、お願いいたします。

(高橋委員) 私も啓林館を選ばさせていただきました。子供たちにとって生活という

のは身近な存在であり、苫小牧に関しての掲載というのが非常に見やすく、全体的にもバランスが取れていると思います。また、単元の途中のところに、わくわくタイムというのが載っており、児童にとって、とても親しみやすい内容になっているのかなと判断させていただいたため、啓林館の書籍を選ばせていただきました。

(福原教育長) 私も啓林館を選びました。キャラクター等のつぶやきを多く掲載することで、気づきを促すなど、学習意欲を高める工夫がされているということと、齋藤委員からもありましたが、苫小牧のスケートまつりの掲載というところは、実生活に即した学習を進めることができるため啓林館の書籍を選びました。

それでは、皆さん、啓林館ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、小学校用図書の生活は、新興出版社啓林館に決定をいたします。

続きまして、音楽の審議に入ります。各委員からご意見をいただき、決定をしたいと思います。佐藤委員、お願いいたします。

(佐藤委員) 音楽につきまして、合唱、それから器楽、音楽づくり、鑑賞という観点から、両方とも非常により音楽を楽しみ、学ぶことができるように構成されておりました。様々なジャンルが含まれて、本当に盛りだくさんな教科書だと思いましたが、社会とのつながりという観点から書いていた教育芸術社を私は採択させていただきました。

(福原教育長) それでは、齋藤委員、お願いいたします。

(齋藤委員) 私は教育出版社を選ばせていただきました。今回の選定に当たって、2社の教科書を見させていただきましたが、どちらの教科書も音楽を楽しめる工夫や、クラスメートと一緒に音楽をつくり上げる工夫、楽しくつくれる工夫などがされている教科書で、どちらを選ぶか本当に迷いました。教科書自体には、大差がなかったと

<p>思います。最終的な決定の判断になったのが、QRコードや、個別やグループで練習ができる教材、音楽を聞きながら、自分がどこを見ているか、迷子になりがちになってしまうと思いますが、自分が今どこをやっているのかを一目で分かるような工夫がされているということで、音楽の苦手意識を感じずに済む子が増えるかなと思い、私は教育出版社を選ばせていただきました。以上です。</p>
<p>(福原教育長) 岡田委員、お願いいたします。</p>
<p>(岡田委員) 私は教育出版を選びました。教育芸術社と比較してもそれほど大きな違いはなく、難しい選択でしたが、現在使われているものが教育出版ということで、特に使いやすさという点では、従来どおりということも考えると、教育出版ということで選びました。</p>
<p>(福原教育長) 高橋委員、お願いいたします。</p>
<p>(高橋委員) 私は教育芸術社を選びました。音楽の感動や力強さを特に子供の年少期のうちに築いていただきたいという音楽の目的を考えたときに、非常に明示的に書かれているのが本書というふうに考えております。また、本格的な要素もあり、解説も分かりやすいという観点で、選択をさせていただきました。以上でございます。</p>
<p>(福原教育長) 私は教育出版を選びました。皆様からあったように、この2社、どちらも優劣をつけ難いのですが、動画や音源など、二次元コードからアクセスし、児童が自ら動画を視聴することが可能となっているなど、二次元コードからアクセスできるコンテンツが多く、そういった配慮があるなと感じたのが教育出版でございます。</p>
<p>それでは、私を含め、教育出版は三人ということですが、特に決定的な問題点がなければ、教育出版に決めたいと思いますが、佐藤委員と高橋委員、ご指摘等はございますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(福原教育長) それでは、小学校教科用図書の音楽は、教育出版に決定をいたします。</p>

す。
続きまして、図画工作の審議に入ります。各委員からご意見をいただき、決定をしたいと思います。それでは、佐藤委員、お願いいたします。
(佐藤委員) 図画工作につきまして、日々の生活や学校の中で芸術をアートとして実感できることが学習の機会になると捉えました。どちらも素晴らしい内容ですが、私は開隆堂を選択させていただきました。
(福原教育長) それでは、齋藤委員、お願いいたします。
(齋藤委員) 私も開隆堂出版株式会社を選ばせていただきました。キャラクターが学習に親しみやすく提示したり、アドバイスをしたりしており、そのことによって、自分が何を学習するのか、子供たち自身が明確にしやすいという点と、字体も見やすいかなと思ひまして、開隆堂を選ばせていただきました。
(福原教育長) 岡田委員、お願いいたします。
(岡田委員) 私も開隆堂を選びました。特に現在使われている教科書で、現場でも評価されていることから従来の開隆堂でよろしいのではないかというふうに、開隆堂を選んでおります。
(福原教育長) 高橋委員、お願いいたします。
(高橋委員) 私は日本文教出版社を選びました。ともに、あまり違いはありませんでしたが、特に使用するに当たり注意点のところ、言葉として非常に分かりやすく、使い方がやはり一番学んで、成果が発揮しやすいものとして描かれているものが日本文教出版というふうに思いましたので、文教出版を選ばせていただきました。
(福原教育長) 私は、開隆堂を選びました。題材ごとに他教科とのつながりについて具体的に示され、教科横断的視点による授業づくりということでは、工夫があると思ひます。
開隆堂が多いですが、高橋委員、特に決定的な問題点はありますか。
(高橋委員) ございません。
(福原教育長) それでは、小学校教科用図書の図画工作は開隆堂出版に決定いたし

ます。
続きまして、家庭の審議に入ります。皆さんからご意見をいただき、決定をしたいと思えます。それでは、佐藤委員、お願いいたします。
(佐藤委員) 家庭につきまして、家族・家庭生活、衣食住の生活、環境など、それぞれが生きていく力を育てる、または、自分の成長の記録として学習の機会になっているかどうかというところの観点から読ませていただきました。どちらもそれぞれ工夫がされており、特徴がありますが、私は今回、東京書籍を選択させていただきました。
(福原教育長) それでは、齋藤委員、お願いいたします。
(齋藤委員) 私は、東京書籍を選ばせていただきました。家庭科はいろいろ作業をする場面が多いかと思いますが、作業の工程が丁寧に説明されていること、SDGsについて、場面や元の流れに沿ってこちらも丁寧に説明されており、理解が深まりやすいと思ひまして、東京書籍を選ばせていただきました。
(福原教育長) 岡田委員、お願いいたします。
(岡田委員) 私も東京書籍を選びました。開隆堂と比較をいたしまして、なかなかどちらを選ぶか難しいですが、現在使われている教科書が東京書籍ということで、特に問題がなければ、東京書籍をそのまま使用する方がよいのではないかと判断いたしました。
(福原教育長) 高橋委員、お願いいたします。
(高橋委員) 私も東京書籍を選ばせていただきました。子供たちにとって、身近な家庭科というものに関しましては、例えば旬な野菜の流通の仕方まで載せられており、その目的がしっかりと明記をされており、東京書籍を選ばせていただきました。
(福原教育長) 私も東京書籍を選びました。意見にもありましたが、SDGsにちなげる、これがいいと感じました。また、全ての大きな題材に、見つめよう、計画しよう・実践しよう、生活に生かそう・新しい課題を見つけようと、3ステップによる展開が掲載されており、明確な目的を持って取り組み、達成感を感じることができる

ような工夫を感じたのが理由でございます。

それでは、皆さん、東京書籍ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、小学校教科用図書の家庭は、東京書籍に決定をいたします。

続きまして、保健の審議に入ります。各委員からご意見をいただき、決定をしたいと思います。それでは、佐藤委員からお願いいたします。

(佐藤委員) 保健につきまして、健康な生活をするための学習から始まりまして、体の発育や発達、そして心の健康といったようなお話など、しっかりと暮らしていくための様々な変化に対する学習ができるように工夫されているかどうかというところと、それから自分の健康の課題について、問題意識を高めることができる資料が非常に効果的に教科書の中に入っておりますので、私は東京書籍を選択させていただきました。

(福原教育長) それでは、齋藤委員、お願いいたします。

(齋藤委員) 私も東京書籍を選ばせていただきました。理由としては、学習の課題が最初にしっかりと提示されていることと、どのようにできるでしょうかなど、何々でしょうかといった質問の投げかけをしていることで、子供たちが何を学ぶのか理解しやすく、個人だけではなく、グループでも学びやすいという点。さらには、「性と自分らしさ」の表現が適切であると感じました。それから、最後に教科書に入っている子供たちのイラストに多様性を感じたことから、現代の教科書にふさわしいと思いい、東京書籍を選ばせていただきました。

(福原教育長) ありがとうございます。それでは、岡田委員、お願いいたします。

(岡田委員) 私も東京書籍を選びました。近年は、インターネットによる社会変化が大きく、使い方を間違えると、インターネットによる犯罪被害に巻き込まれる危険

性があり、そういう社会の変化があります。東京書籍は、インターネットによる危険性について丁寧に書かれている部分があり、ほかの教科書も甲乙をつけ難いところで、大変難しかったですが、これからの社会変化の中に対応した教科書という意味では、東京書籍がいいのではないかというふうに判断しました。

(福原教育長) 高橋委員、お願いいたします。

(高橋委員) 私も東京書籍を選ばせていただきました。全体として、非常に見やすいバランスで書かれていることと、子供たちにとって必要な生活を学ぶ上での安全、そして、コンテンツの掲載を通して、子供たちに注意喚起を与えており、年少期における必要な発育、また健康に関してのことを考えるに当たって、非常に理解のしやすい書物という判断させていただきまして、選ばせていただきました。

(福原教育長) 私も東京書籍を選びました。基本的に見やすく、各節が、気づく・見つける、調べる・解決する、深める・伝える、まとめる・生かすの四つのステップで構成され、課題を解決するに当たって、主体的な学習活動に取り組むことができるような工夫がされていると思います。また、ご意見にもありましたが、資料で「性と自分らしさ」を新設し、体だけでなく、気持ちや考え方を性の物差しで示すことで、性の多様性に気づくことができる点や、自分は多様な人たちの一人で、自分事として考える機会が提供されているという部分と、性別、国籍、障害の有無などをこういったキャラクターや個人差、自分らしさの記述が随所にあり、多様性が尊重されるよう配慮されているというふうに思いました。

それでは、皆さん、東京書籍ということですので、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、小学校教科用図書の保健は、東京書籍に決定をいたします。

それでは、続きまして、英語の審議に入ります。各委員からご意見をいただき、決

定したいと思います。佐藤委員、お願いいたします。

(佐藤委員) 英語について、前回の採択のときに関わらせていただきましたが、苫小牧の子供たち、児童が英語を学ぶことに臆することなく、楽しみながら英語を学ぶことが大切だというところで採択した経緯がありました。どのくらい楽しんで、英語を自分に対しての生活の中に入れるのかというところも期待しておりましたが、残念なことに、コロナ禍の影響を受けまして、学習計画を恐らく変更せざるを得なかったのではないかなと感じておりました。一方で、中学校の英語へのつながり方というのも大切だと考えておりますが、まずは英語に楽しむ、苦手意識を起こさないように、英語を楽しんで、自分の生活の中に取り込み、学習していく機会になるようにと思ひまして、私は今回、東京書籍を選択させていただきました。

(福原教育長) それでは、齋藤委員、お願いいたします。

(齋藤委員) 私は今回、開隆堂出版を選ばさせていただきました。私も、佐藤委員がおっしゃるように前回の採択に携わらせていただきまして、どういものだったら英語に対し苦手意識を感じずに、子供たちが楽しく学べるのか考えていました。今回、私も最後まで迷いましたが、ALTの先生が増え、子供たちが教科書以外でも楽しく学ぶ環境が整い、前回の採択の際から英語を学ぶ子供たちの環境が変わったことや、開隆堂のほうは、会話文だけではなく、長い文章ではないですが、英語の文章を読むというページがあります。国語の学習でもそうですが、会話だけではなく、文章を読むことによって、語学が広がることがありますので、その点が大きなポイントになりました。以上です。

(福原教育長) 岡田委員、お願いいたします。

(岡田委員) 私は東京書籍を選びました。異なる国の人と英語を手段として、会話を通し、気持ちの通じ合い、楽しく英語を学ぶことが大切じゃないかと思っております。子供たちがALTで実際に外国人の先生と対話する機会が増えるというのは大変よいことと思います。前回、初めて東京書籍を採用し、前回新設された英語について、慣れてきた教科書をあえて替えることはどうかということも考えましたので、引き続

き、東京書籍でよいのではないかと考えます。

(福原教育長) 高橋委員、お願いいたします。

(高橋委員) 小学校期における英語で一番私が重要だと思うことは、子供たちが学ぶことというよりも、私は楽しめることだと理解をしています。そういう意味で、開隆堂さんを今回は選ばせていただきましたが、登場人物が思っていることを言葉として発信している形となっており、非常に見やすく、何かを学ぶというよりは、その登場人物が考えているものを言葉として理解していくというものになっており、非常に理解がしやすいと思いました。そういう意味でも英語を学ぶために一番必要なものが載せられているということを考え、開隆堂さんを選ばせていただきました。以上でございます。

(福原教育長) 私は東京書籍を選びました。皆さんの意見があるとおり、この英語の教科書を選ぶというのは非常に難しいところがあると思います。当然、英語が嫌いにならないように、楽しく英語を学べるかという入り口の部分が非常に重要だと思っております。中学とのつながりを考えたときに、その辺の意見として現場の意見を聞いている部分では、出版社の違いという部分については、問題はないというご意見も寄せられておりますので、私は学びの手順が示されており、児童が見通しを持って活動を積み上げていくことができるという構成を評価しまして、東京書籍を選びました。

私を含め、三人が東京書籍ということですので、特に決定的な問題がなければ、東京書籍に決めたいと思いますが、齋藤委員、高橋委員、何かご意見等がありますか。

(一同「なし」の声)

(福原教育長) それでは、小学校教科用図書の英語は、東京書籍に決定をいたします。

続きまして、道徳の審議に入ります。各委員からご意見をいただき、決定をしたい

<p>と思います。佐藤委員、お願いいたします。</p>
<p>(佐藤委員) 特別教科道徳につきまして、各学年にわたり、言語活動、それから体験活動、問題解決型の活動に分かれて、それぞれ扱われている内容も深く考える、または気づくという内容でございました。それぞれ特徴もあり、学習する機会になるようにという内容でございましたが、どういうことがあるのかを知ること、違う意見に気づく、そういう機会になるような内容もあり、さらに自分の考え方を深めていくきっかけ、振り返るということを判断し、さらには、表現する力がついていくだろうと思ひまして、私は今回、光村図書を選ばせていただきました。以上です。</p>
<p>(福原教育長) 齋藤委員、お願いいたします。</p>
<p>(齋藤委員) 私も光村図書出版を選ばせていただきました。まず、主体的に学べるかどうか、また、5、6年に上がってからは、先入観を与えずに、子供たちが考える、自分たちで考えを深めることができる教科書というのが大切だと思います。特に大人たちがこうするべき、この考えでなければいけない、という考えを子供たちに植え付けがちな教科だと誤解を受けることがあります。そういう誤解を受けることがない教科書は、一番どの教科書かなという部分に重点を置いて選ばせていただきました。そして、光村図書を選定した理由としましては、キャラクターのメッセージが秀逸だなと思いました。例えば、決まりが大事など、そういうことではなくて、嘘をつきそうになるときはどんなときかなど、子供たちがそういう言葉を見て、場面について素直に考えられる、余計な先入観なく考えられるような内容になっていると思います。お話を読んだ後の設問が大体三つぐらいあり、大きく、考えよう、話し合おう、というコーナーですが、そこでの問いかけの設問も本当に秀逸で、子供たちが悩みながら、自分で答えを見つけ出す、変な操作がなくて、すんなりと入っていく設問が多かったというのが選んだ理由です。以上です。</p>
<p>(福原教育長) 岡田委員、お願いいたします。</p>
<p>(岡田委員) 私は光村図書出版を選びました。お互いを尊重し、理解し合うためには、自分の考えを伝え、相手の考えを聞く、コミュニケーションをとる力が必要であ</p>

りますが、光村図書出版は、グループでの話し合い、相手と理解し合うためにはどのようなことが大切なのかを考え、言葉をかけ合うこと、コミュニケーションすることの大切さを含む内容となっています。この点については、なかなか他の教育出版、東京書籍、日本文教出版、光文書院、G a k k e nも同様のところがありますが、若干、光村図書がいいと判断しました。最近では、特に子供たちの自己評価の低さの問題が言われています。隣人愛という言葉がありますが、これは、自分よりも隣人を愛するというのではなく、自分と同様に隣人を愛することというふうに解釈しています。自分の価値の大切さ、それが分からなければ、他人の価値、大切さも分からないというのだと思います。光村図書の教科書の名前で「きみが いちばん ひかるとき」とありますが、自分のよいところ、自分の評価を高めるところに着眼しているというふうに考え、評価いたしました。

(福原教育長) 高橋委員、お願いいたします。

(高橋委員) 私も光村出版を採択させていただきます。内容といたしましては、子供たちに伝える内容として非常にバランスが取れていて、適切であり、お話の内容としても理解しやすいものとなっていること、岡田委員もおっしゃっていましたが、子供たちにとって必要な自分を高める、自分を認める、他人を認めるということに関しても、記述に関しての説明が分かりやすく、一番バランスが難しくなってくる小学生の多感な時期に、子供の頃からそういうことを学びながら、自分、そして相手というものを理解していくために必要な教科書となっていると判断したため、選択をさせていただきました。以上でございます。

(福原教育長) 最後、私は、前回と同じ東京書籍を選びました。「つながる 広がる」のコーナーで、関連する内容や項目について、さらに自分の考えを広げられる工夫がされており、主体的な学習が進められるというところを評価しました。また、道徳的行為に関する体験的な学習や問題解決的な学習が取り入れられており、より自分のこととして考えられているような工夫がされていると感じ、東京書籍を選びました。全体として光村図書が多く、私はそこに異議がございませんので、光村図書としたい

<p>と思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(福原教育長) それでは、小学校教科用図書の道徳は、光村図書出版に決定をいたします。</p>
<p>それでは、続きまして、特別支援学級教科用図書について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>(学校教育課長) 令和6年度特別支援学級教科用図書につきましては、小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒が、当該学年用の文部科学省検定済教科書の使用が適当でない場合に教科書として使用するもので、文部科学省検定済み教科用図書の学年用、文部科学省著作教科用図書及び一般図書がございます。一般図書につきまして、全てを採択してよろしいか、ご審議賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>(福原教育長) ただいまの説明についてご質問はございますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(福原教育長) ないようですので、特別支援学級については、一般図書を含めて全て採択するというところでよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(福原教育長) それでは、次に、中学校用教科用図書について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>(学校教育課長) 令和6年度に使用する中学校用教科用図書についてでございますが、文部科学省の通達の内容も踏まえ、現在使用している教科用図書で、引き続き採</p>

<p>択してよろしいか、ご審議賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>(福原教育長) ただいまの説明についてご質問はございますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(福原教育長) ないようですので、説明があったとおり、現在使用している教科書用図書を引き続き採択するということではよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>(福原教育長) それでは、原案のとおり採択をいたします。</p>
<p>最後に、事務局から連絡事項等がありましたら、お願いをいたします。</p>
<p>江原学校教育課長。</p>
<p>(学校教育課長) それでは、ご審議の結果の令和6年度から使用する教科用図書につきまして、確認をさせていただきます。小学校の教科用図書につきましては、国語が光村図書出版株式会社、書写が光村図書出版株式会社、社会は教育出版株式会社、地図は株式会社帝国書院、算数は東京書籍株式会社、理科は東京書籍株式会社、生活は株式会社新興出版社啓林館、音楽は教育出版株式会社、図画工作は開隆堂出版株式会社、家庭は東京書籍株式会社、保健は東京書籍株式会社、英語は東京書籍株式会社、道徳は光村図書出版株式会社、以上となります。</p>
<p>特別支援学級用の教科用図書につきましては、全てを採択することといたします。</p>
<p>中学校の教科用図書につきましては、現在使用している教科用図書を採択し、次年度1年間引き続き使用することといたします。</p>
<p>以上のとおり、採択いたします。</p>
<p>採択した教科書、採択理由等につきましては、後日、ホームページで公表いたします。また、決定した教科書について、教育・福祉センター及び中央図書館2階で展示</p>

を予定してございます。

事務局からは以上でございます。

(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(福原教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することによろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、以上で議案第1号の審議を終了いたします。

第2号 令和5年度教育委員会点検・評価報告書について

(教育部斎藤次長) -令和5年度 全国学力・学習状況調査結果の考察と公表について説明-

(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(斎藤委員) 前回、私が発言したところを訂正していただいたと思います。ありがとうございます。

まず、いじめの件について、いじめ解消率が100%であると記載されていますが、本当にこれは自信を持って記載して大丈夫なのかという、不安があります。実際、先生方や学校現場で100%という自信があって、データの的にもそれが出ているので、このように書いてくださっていると思います。データとしては確かにそのとおりだと思います。ただ、これを外部に向けて発信することが本当に適切なのか、大丈夫なの

かという心配があり、どちらにしても、今後の課題のところ、本当に100%だという自信を持ってこれを発信するのであれば、今後も100%維持できるように努めるなどの記載もあったほうがいいのではないかと思います。いかがでしょうか。

(教育部桑島参事) まず、調査段階での100%という数字、委員のご指摘のとおりかなと思っております。その裏づけというところで、いじめの認知率、認知している数というのが年々増えてきておりますが、学校現場としても小さなものから、まだ隠れているものがあるのではないかとすることは常に考え、指導する際も校長会議の場などで積極的にまず認知してもらい、そして解消に向けた初期対応、それから解決に向けた計画と、早期発見、早期対応の充実というところも訴えかけてはきています。そういう中で、認知件数というのは、ここ数年で倍増するぐらいの取組に今変わってきておりますが、本当に隠れているものがないか常に心に留め、発信させてもらいながら、常にこのいじめ問題については、起きる前に未然に防ぐためのサミットや、外部の有識者の方のご意見の中でも、高校との取組の連携、そういったところも訴えかけられてきていますので、特に幼・小・中・高とそれぞれの取組をしながら、悲しい結果につながらない取組というのを、まず充実させていきたいというところで、また、この100%という数字だけが走らないように私たちも気をつけながら、いろいろなところへの発信させてもらっているという現状があります。まずは、調査段階での数字を下のところに記載させてもらったということになっています。

(齋藤委員) おっしゃるとおりだと思いますが、この100%という数字の破壊力は大きく、この数字だけに注目が集まってしまうのではないかとこの心配をしています。先生方、桑島参事がおっしゃったように、100%と書いていても、人間の社会の生活において、私たちに見えないことはたくさんあって、どんなに先生方、学校の教育現場が努力しても、こういった見えない部分はたくさんあり、それはもう仕方がないと、当たり前のことだと思います。ただ、これを見るだけだと、それが全く表されていない報告だなと思います。それなら、100%については少し横に置いておいて、今後の取組と課題で、今お伝えいただいたことを明記すべきかなと思います。こ

の調査した結果、解消率は100%とはなっていますが、いじめについてやはりまだまだ認知し切れてない部分もあるので、今後とも継続して、小さなものも見逃さないように努めていくというような表記など、この100%の目標値をどうしても市教委として載せて市民の皆さんに訴えたいということであれば、せめてこの取組の課題でその点について触れたらいかがかなとは思いますが、いかがでしょうか。

(教育部桑島参事) いろいろご意見を伺いまして、100%という、数字だけが走らないように、今後も継続した取組の中で、そこを維持しつつ、さらにいじめの認知に向かっていくというようなことを少し表現させていただいて、やはりそういったところで誤解を生まないように、少し表現を付け加えさせていただきたいと思います。

(佐藤委員) 今のことに関連してなんですが、しっかり読まないとはやはり100%というのは、パーフェクトというような、数字から受ける印象があります。米印の2については100%で、私はよろしいと思いますが、米印1の説明のところに、いじめの行為が3か月を目安として止んでおりとなっていて、その3か月のところにこだわった場合に、100%にはやはりならない、なりにくい部分が出てくると思います。なので、どうしてもこのくらいの認知をしていて、一生懸命いろいろな人と相談をして解消していますというのであれば、パーセントではなくて、認知度件数で書くなど、そういうような数字にしたほうが、私は誤解を少なくなるのではないかと思います。

100%と出てくると、3か月でいじめが終わるのかといたら、決してそういうことはないと思いますし、では6か月後はどうなんだ、1年後はどうなんだ、調査していないのかというところまで話が広がっていく可能性があると思います。しかし、やはり学校が認知している件数ということを公にするのであれば、パーセントではなくて、実際の件数を書いたほうが誤解は少ないように思います。3か月という期間を延ばすか、100%ではなくて、実際の件数の数にするか、工夫していただくと、あまり誤解されないのではないかと思いますという気はいたしました。

(福原教育長) 誤解ありきでご意見が出ていますので、そこも含めて教育部桑島参事お願いいたします。

<p>(教育部桑島参事) いじめの認知件数というところを触れさせていただいていますが、これは学校がいじめとして認知した件数となっております。これが年々、増えてきており、それはもう本当にささいなと言うと語弊あるかもしれませんが、小さな芽から摘むという、そういった流れとして、出させてもらっている数値になります。また、この認知した件数は令和4年度の件数からいうと、546件認知しておりますが、把握してから3か月間の見守りは、文部科学省の定義に沿い、その定義に照らし合わせて3か月間というところを示させていただいております。</p>
<p>(園田部長) 今説明につきましては、教育部桑島参事のほうからのとおりですが、3か月というのは、文科省の中で定義として決まっている期間ということなので、ここはやはり変えにくいものだと思っております。また、100%という表記についてインパクトが強いのではないかという意識も持っていますので、ご意見をいただいた分については、パーセントではなく、件数の中で同じ数字を書くような形にさせていただければと思っておりますので、表現を訂正させていただきたいと思えます。</p>
<p>(佐藤委員) その米印1の3か月のところに括弧して、文部科学省の定義によるものである旨を入れたほうが誤解されないと思えます。</p>
<p>(教育部桑島参事) 一番最後の出典元に記載するなどしっかり分かるような形で、全道的にやっている調査というのが分かるように表現させてもらいたいと思えます。</p>
<p>(高橋委員) 評価自体がBということは、要は達成されていない部分があるということで認識するとして、評価レビューが、最終的に解消が図られているためで終わってしまっているの、逆にすべきだと思えます。適切な対応で解消が図られているが、認知件数が上がってきており、まだこれからあるかもしれず、そこを認識したのでB評価になっているという書き方にしたほうが、誤解はされないと思えます。</p>
<p>(福原教育長) これに対してのご意見、回答はありますか。</p>
<p>(教育部桑島参事) ご指摘のとおり、表現について検討させていただき、最終的には皆さんに誤解ないような形にしていきたいと思えます。</p>
<p>(齋藤委員) 最後に付け加えて、前回は発言させていただいたのですが、学校現場</p>

も市教委も、このいじめ問題に本当によく取り組んでくださっているなど私自身は評価しています。今回、この学校のいじめに関して、いじめと認知した事項の解消率のところを載せているというのが、私が少し推察したところによると、認知件数がかなり増えていて、そのことに関して、増えているけれどきっちりと解消していますよということを表すためにこの項目を載せたのかなとは思いますが、この評価レビューの中で、あまりに控え目な表現だと思いますので、もう少し積極的な説明があってもいいのではないかと思います。増えていることは誇ることと言ってはおかしいですが、今まで見えなかったところもきちんと炙り出しして認知できるようになったという評価を、ここに明記したほうがいいのではないかと思います。

(福原教育長) ここは、前回と変わっていないですか。

(教育部桑島参事) 変わっていないので、そういうことも含めて今ご意見いただいた部分も併せ、表現させていただきたいと思います。いじめについて、ご意見をいただきましたが、本当に学校現場もすごく熱心に調査を進めており、小さい芽から悲しい出来事がなくなるようにということで、すごく頑張って取り組んでいるというところが伝わるような、そういった表現にさせていただきたいと思います。以上になります。

(福原教育長) ほか、ございますか。よろしいですか。

(一同「なし」の声)

(福原教育長) 質疑がないようであれば、修正するというところでよろしいですか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、議案第2号はそのように決定をいたします。

第3号 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果の考察と公表について
(教育部斎藤次長) 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果の考察と公表について説明-
(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。
(一同「なし」の声)
(福原教育長) 質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(福原教育長) それでは、議案第3号は原案どおり決定いたしました。
第4号 令和5年度 教育費補正予算について
第5号 令和5年度 苫小牧市文化賞・文化奨励賞の選考について
第6号 教職員の事故に関する処分内申について
(福原教育長) 次に、議案第4号から第6号についてですが、第4号については、市議会にて審議予定の案件で、招集告示前に公開することは適切でないこと、また、第5号及び第6号は、人事案件でございますことから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、本会議の日程の最後に審議したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは、議案第4号から第6号を秘密会とし、本会議の日程の最後に審議することに決定いたしました。

6 報告・協議

報告(1) 令和4年度苫小牧市学校給食会会計決算について

報告(2) 八王子市姉妹都市盟約50周年記念事業について(学校給食メニュー交換交流事業)

(学校給食共同調理場長) -令和4年度苫小牧市学校給食会会計決算及び八王子市姉妹都市盟約50周年記念事業について(学校給食メニュー交換交流事業)について説明-

(福原教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(一同「なし」の声)

(福原教育長) ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

報告(3) 教職員の事故について

(福原教育長) 次に、報告第3号「教職員の事故について」を扱いたいと思います

が、人事案件でございますことから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(福原教育長) それでは報告第3号を秘密会とすることに決定いたしました。

(福原教育長) これより、秘密会と決定しました議案第4号から第6号及び報告第3号について審議したいと思います。関係者以外は退席をお願いいたします。

(福原教育長) それでは、委員会を再開いたします。なお、議案第4号から第6号につきましては、原案どおり決定したことを申し添えます。

7 その他

(福原教育長) 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何かございますか。

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言 (福原教育長)・・・17時40分